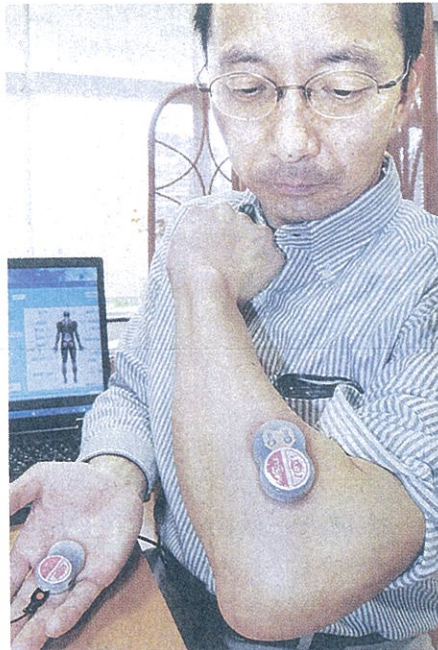


日刊県民福井 平成23年 5月10日

株式会社 身のこなしラボラトリー

## 福井大の研究、ベンチャーが開発



岡本耕至代表が「マッスルアライブ」を紹介する様子。福井市照手町4丁目

筋肉の動きを数値化し、光と「ラトリー」が開発した。肌に向けて、普及に努めている。音で知らせる安価な装置「マッスルアライブ」を、福井市のベンチャー企業「身のこなしラボラトリー」が研究開発した。肌に向けて、普及に努めている。音で知らせる安価な装置「マッスルアライブ」を、福井市のベンチャー企業「身のこなしラボラトリー」が研究開発した。肌に向けて、普及に努めている。

「マッスルアライブ」は、福井大の研究成果を基に開発。筋肉を動かす際、脳から筋肉へと送られる電気信号を測定し、音の間隔と高さ、発光ダイオード(LED)の光の色で知らせる仕組みとなっている。大きさは縦四・四センチ、横一・八センチ、幅一・二センチ。重さは十五グラムと軽量で、筋肉の動きを知りたい場所に、直接張り付ける。

## 筋肉の動きを光と音に

### 安価な装置、測定も簡単

価格は、音と光のみの普及版が一万九千八百円、パソコンで詳しく分析できるセミプロ版セットが四万千八百円。従来の、筋肉の動きを測定する「筋電計」が、百万円から数百万円と高価なのに比べ、手軽に利用できるのも特長。

同社の岡本耕至代表(四七)は「自分の筋肉の動きがすぐに分かり、どの筋肉を鍛えているか、逆に力が抜けているかも確認できる」と話す。問い合わせは同社☎電0776(24)0325へ。(藤共生)